

財源拠出意思確認書

ご提出いただいたみなさん ありがとうございます



7月の商品代から1%拠出が始まります

これまで2027カーボンニュートラルの取り組みについて、この新聞を通してみやざきの組合員みなさんにお伝えしてきました。未来を担う子どもたちのため、みどりの地球をみどりのままを目指してグリーンコープとして、さまざまな運動に取り組んできました。その集大成とも言えるこのカーボンニュートラルの取り組みをひとりでも多くの組合員に知ってもらいたいという気持ちで理事会メンバーが検討を重ねてきました。

商品代金の1%の拠出をどのようにして伝えていくのかを、理事会で検討、相談を重ねること、この未来の環境への取り組みはグリーンコープの組合員なら、必ず理解してもらえると感じました。3月にみなさんにお届けしました財源拠出意思確認書の提出率は、4月末現在、4,761名（配布枚数の74.4%）の組合員が提出くださり、3,180名（提出者の66.8%）の同意をいただくことができました。たくさんのおみやぎの組合員みなさんが未来の子どもたちにつなぐ地球のことを真剣に考えてくださっていることが伝わってきました。

みなさんから拠出いただいた商品代の1%は、大切に2027カーボンニュートラルの実現に向けての財源として使わせていただきます。本当にありがとうございます。

実際に商品代の1%の拠出に関しては、7月の商品代金から始まります。他、カンパやキーフ&ショップでの拠出についても検討しています。

これからこの2027カーボンニュートラルの取り組みについて、組合員みなんで考え進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

【理事長 川口 香代子】

OUR GREEN

みんなで考えよう！わたしたちの未来

みどりの地球をみどりのままです

第9号

- 7月の商品代から1%拠出が始まります
- 使用済み食用油回収×カーボンニュートラル
- 2025年3月15日「笑顔つながるこだわりマルシェin都城」開催報告

ホームページ

チェックしてね！

Instagram

@GREENCOOP_MIYAZAKI

フォローしてね！

使用済み食用油回収 × カーボンニュートラル

グリーンコープみやざきで使用済み食用油の回収が始まりました！場所は、キーフ&ショップみやざき、キーフ&ショップ天満通り、キーフ&ショップ日向、キーフ&ショップ都城、キーフ&ショップぐりーん・ぐりーんの5店舗です。店舗内に回収箱(コンテナBOX)を設置しています。

集められた使用済み食用油は、回収され、アスファルト工場バイオマス燃料として活用されます。バイオマス燃料とは、動植物の生物資源(バイオマス)を燃料として利用するもので、再生可能エネルギーの一種です。化石燃料の代替として注目されており、燃焼時に排出される二酸化炭素は、原料となる植物が成長過程で吸収した二酸化炭素と相殺されるため、カーボンニュートラルな燃料として扱われます。

ご希望される組合員に、シリコン製のじょうごをお渡ししています(限定100個)。今まで捨てていた使用済み食用油をリサイクルできるこの取り組みにぜひご参加ください。

使用済み食用油を入れる容器は、ペットボトルや油が入っていた缶など、中身がこぼれないようにしていただければ、どのような容器でも大丈夫です。ぜひご協力お願いいたします！

【宮崎東地区委員長 和氣 亜樹】

捨てないで！

使った食用油はキーフ&ショップへ！！

食用油回収 5ステップ

- 1 油を冷ます**
油はしっかり冷まし、なるべくカスはとる
- 2 ボトルを用意**
使える容器
・清潔な空のボトル
・油が入っていた容器
- 3 油を移す**
じょうごを使ってボトルに移し替える
- 4 フタをしめる**
こぼれないようにフタをしめる
- 5 油を持ち込む**
お近くのキーフ&ショップへ

グリーンコープのカーボンニュートラル

グリーンコープでは2027年までに事業で排出する温室効果ガスを実質ゼロにする『2027カーボンニュートラル』に取り組めます。一人ではどうすることもできないと思える地球温暖化による気候危機の問題も、一人ひとりの環境によい選択やアクションを足し合わせることで、未来は変えられます。多くの人々がグリーンコープを利用し、一人ひとりが無理なくできることを実現し、その輪を広げていくことで『2027カーボンニュートラル』の実現を目指します。

2025年3月15日『笑顔つながる こだわりマルシェ in 都城』 開催報告 活動組合員ブース

ファイバーリサイクル

突然ですが、グリーンコープのファイバーリサイクルをご存知ですか？
この取り組みは、衣類などを回収し、海外の貧困支援や国内の就労支援に役立てる取り組みです。回収された衣類をパキスタンに送り、その売上金で学校を建設したりしています。
今回の生協まつりではファイバーリサイクルの紹介と子ども服や小物などの販売を行いました。
場所はキッズスペースと同じ部屋だったこともあり、お子様連れの方などが手にとっていただきました。ファイバーリサイクルの取り組みについて知っているか尋ねたり、説明したりしました。お声かけしたほとんどの方がまだ知らない様子だったので、ファイバーリサイクルについて知っていただく良い機会になったのではないかと思います。あなたの自宅で眠っている衣類や小物がありましたら、ぜひファイバーリサイクルの取り組みにご協力ください。【福祉委員長 俵 志穂】



みんなの暮らし委員会



みんなの暮らし委員会で、グリーンコープが取り組む4Rについての展示を行いました。
来場者には展示をご覧いただき、商品が入った仕分け袋のラベル切りやリユースびんのキャップ外しの体験、4Rクイズにも参加してもらいました。参加してくださった方には「お洗濯の液体せっけん」のサンプルをお渡しし、喜んでいただきました。
小さなお子さんもクイズに参加したり、実際に体験をすることで「お家でやってみるね！」という声をいただき家族みんなで4Rについて考えていただけたらいいなと感じました。また、グリーンコープの組合員の方でも返却の方法を知らなかったという方も多くいらっしゃったので、4Rについて知っていただける良い機会となりました。
【みんなの暮らし委員長 瀬尾 綾美】

木育 キッズスペース



宮崎県産材で作られた木玉プールと木製すべり台、からからつみきを準備して、キッズコーナーを作りました。
木玉プールでは、小さな子だけでなく小学生ももぐったりしながら楽しく遊んでいました。まんまるの木玉の中に、数個たまご型が混ざっていて、それを見つける遊びも楽しんでいました。
木のおもちゃがあることで、室内に木の香りが漂い大人も癒される空間になっていました。

【理事長 川口 香代子】



つばやき

「ミニマリスト」という言葉をよく見たり聞いたりして憧れはありますが、2歳と7歳の子どもたちとの生活の中で物を手放す、無くすという選択は難しいのが現状です。そこで私が今できることの1つとして意識しているのが、「それは本当に必要か？」という問いと常に向き合うことです。買う前にどんなに安くてもその利用価値や何か他の物で代用できる物は無かったか？を考えて、なるだけ増やさない努力を心掛けています。

【宮崎北地区委員長 中里 鮎美】

商品おためし交流会

宮崎会場

7月17日(木) 宮崎市民文化ホール

都城会場

7月18日(金) ウエルネス交流プラザ

参加メーカー14社

稲石、エムシーサービス、大分製紙、彩生舎、生活アートクラブ、太陽油脂、チョコレート、ナカシン冷食、ネッツフーズ、山一、ビッグファイブ、枕崎漁協、マルキン食品、リバーグリーン

申込はこちら！



お友達もOK！
試食もあるよ！

